

1月 給食だより

あけましておめでとうございます。本年もおいしい給食提供をおこなってまいりますので、よろしくお願ひいたします。

冬休みはどうだったでしょうか？学校では、1年のまとめでもある3学期が始まりました。生活リズムを整えて、寒さに負けない元気な体づくりをしましょう。

★世界の料理～ドイツ～

12月はドイツ料理のケーニヒスベルガーが給食にいました。



ケーニヒスベルガークロプセは、ドイツの郷土料理です。ケーニヒスベルガーは、ドイツの「ケーニヒスベルク地方」のことで、クロプセは「肉団子」という意味があります。肉団子に、レモンやケッパーを加えたホワイトソースをかけた料理です。

今年はうま年！



うまいように野菜をたっぷり食べよう！



箸をうまく使いこなしてきれいに食べよう！



よく味わってうまいを感じよう！

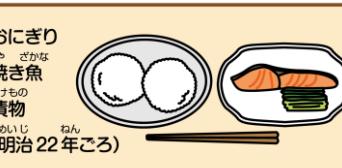
★1月は全国学校給食週間です！



学校給食の始まり

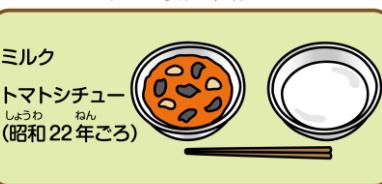


明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正12(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。



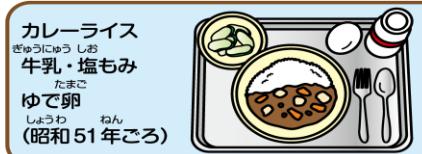
支援物資による学校給食の再開

戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。



バラエティー豊かな献立内容に

昭和29(1954)年に「学校給食法」が成立したことで、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯(ご飯)が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実してきました。



このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが見えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を続けることができるよう、学校給食は「教材」としての役割も担っています。